

3. 大町地区を再生させる活動ポイント

「歩いて暮らせるコンパクトシティ」としてまちの再生をするには、下図の諸活動がポイントになる。交通シェルの内側にこれらの諸活動が複合的に行われるような環境を作り、幼児からお年寄りまで生き生きと人々が暮らせるまちづくりを目指す。

図 II-3-1 大町地区を再生させる活動ポイント

